

## 九州電力の地震観測結果

### 川内原子力発電所周辺の地震観測結果が公表されました

九州電力では、安全性・信頼性向上に向けた取組として、川内原子力発電所周辺の地震活動状況をより詳細に把握するため、2017年度に地震観測体制を強化し、2018年度から地震観測を開始しています。

#### 地震観測結果について

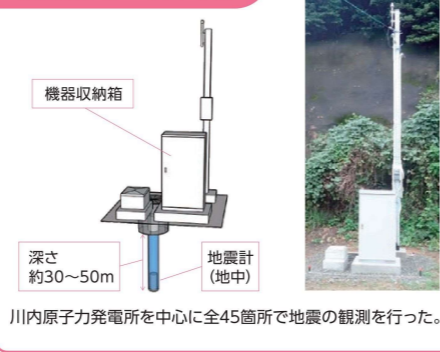
##### ① 2023年度(1年間)の地震活動

- 発電所近傍(半径10km圏内)では、地震が少なく地震活動は比較的低い。
- 発電所周辺(半径50km圏内)では、大きな地震は発生していない。

##### ② 過去の地震活動

- 発電所周辺の地震活動に大きな変化はない。

観測点のイメージ図・写真



地震観測の結果、川内原子力発電所周辺では、大きな地震が発生しておらず、川内原子力発電所の安全性に影響を及ぼすような地震活動は認められない。今後も継続的に川内原子力発電所周辺の地震活動の観測を行っていく。

### 宮崎県日向灘を震源とする地震について

- 令和6年8月8日に発生した地震では、川内原子力発電所においては震度2であり、津波は観測されず、異常は確認されませんでした。
- 日向灘を含む南海トラフの巨大地震としてマグニチュード9クラスの大規模な地震を想定した場合においても、川内原子力発電所の敷地について震源を特定して策定する地震動による基準地震動\*の最大値(540ガル)を十分に下回る(約40ガル)ことを確認しています。

※基準地震動とは？：原子力発電所の耐震設計の目安であり、想定される最大規模の地震の揺れ

令和6年度  
第2回

### 原子力安全対策連絡協議会を開催しました



川内原子力発電所周辺の住民の安全と環境の保全を図るため、「原子力安全対策連絡協議会」を年4回開催しています。知事の進行のもと、環境放射線調査結果等について協議などが行われました。

日時 令和6年8月16日(金)  
午前10時30分~11時30分

場所 アートホテル鹿児島

#### 構成委員

鹿児島県	知事	議長
薩摩川内市	市長	議長
いちき串木野市	市長	議長
阿久根市	市長	議長
県漁業協同組合連合会	会長	議長
県農業協同組合中央会	会長	議長
県商工会議所連合会	会長	議長
県商工会連合会	会長	議長
県医師会	会長	議長

## 川内原子力発電所周辺の環境放射線調査結果

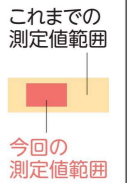
県では、川内原子力発電所の運転による影響を調べるため、発電所の試運転開始前から、周辺地域の空間放射線量や、周辺で採取した野菜・水等に含まれる放射性物質の測定を行っています。

### 空間放射線量の測定

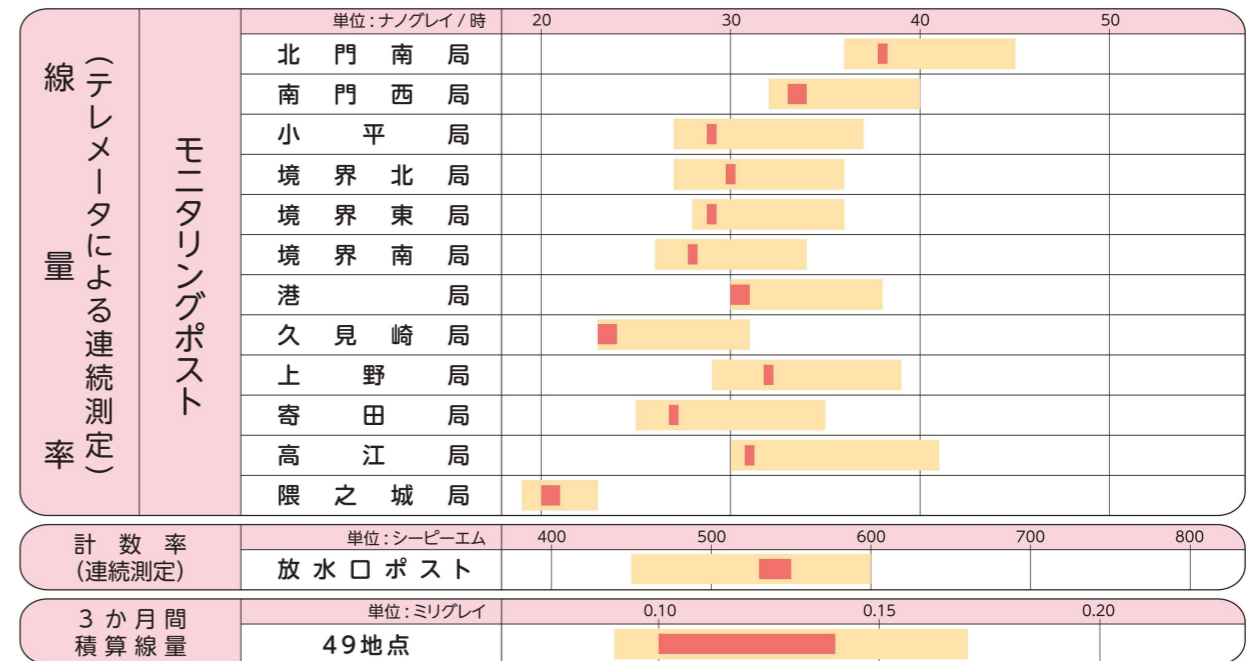
(令和6年4月~6月)

モニタリングポスト(42局\*)の空間放射線量と、発電所の放水口ポスト(1局)における海水中の放射線量を、テレメータシステムを用いて常時監視しています。また、発電所周辺の49地点において、3か月間の積算線量の測定を行っています。

\*県はその他、緊急時に備えた電子式線量計を64地点に設置しています。



今回の調査結果は、これまでの調査結果と比較し、異常は認められませんでした。

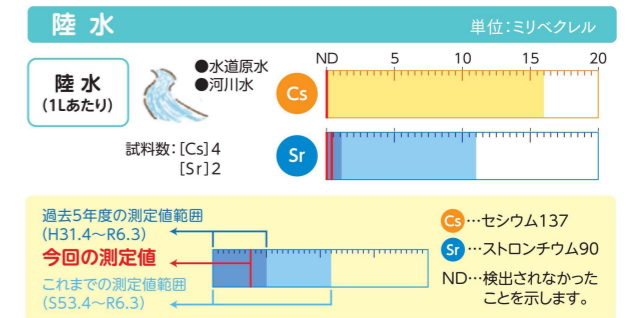
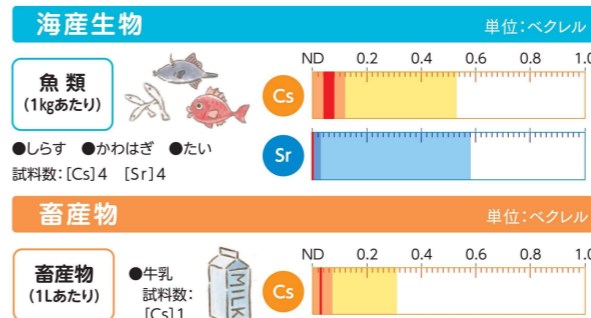


### 環境試料の放射能分析

(令和6年4月~6月)

人工の放射性物質であり、環境における蓄積や被ばくの観点から重要なセシウム137、コバルト60、ストロンチウム90、ヨウ素131等について分析しています。今回は海洋試料13試料、陸上試料33試料、合計46試料を対象としています。

今回の調査結果は、これまでと同様、過去に実施された大気圏内核実験等による影響と考えられる、ごく微量のセシウム137、ストロンチウム90が検出されていますが、異常は認められませんでした。



今回の調査結果については、県のホームページに掲載しています。

鹿児島県 環境放射線調査結果

検索



空間放射線量の測定結果については、リアルタイムで県のホームページで公表しています。

鹿児島県 環境放射線テレメータ

検索

